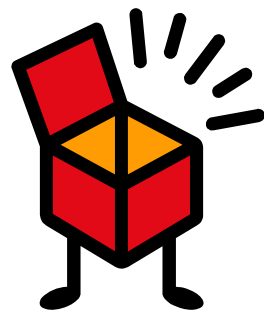


日立金属株式会社
2009年度第2四半期累計決算説明



Materials Mag!c

2009年10月28日

 日立金属株式会社
Hitachi Metals, Ltd.

<http://www.hitachi-metals.co.jp>

E-Mail : hmir@hitachi-metals.co.jp

09年度第2四半期累計(09/上)

■ 需要動向

エレクトロニクス関連 : 液晶、半導体向けなど期初より中国を中心に急回復、堅調に推移
自動車関連分野 : 1Qは低調、2Qより回復基調に。ただし、一部製品は在庫調整が継続
産業インフラ分野 : 国内向けは設備投資抑制の影響により低水準に留まる

■ 売上・営業利益

売上は当初予想に対し未達となったが、固定費削減などにより営業利益は2Qより黒字化

■ 基盤強化

1. 収益力強化 ⇒ コスト構造改革による損益分岐点の引き下げ
2. 運転資金の圧縮 ⇒ 棚卸資産の圧縮を継続(2009年3月末比 △172億円)
投資の精選

09年度見込

- ・工具鋼をはじめとする一部製品の実需回復遅れの影響などにより、売上高は当初予想を減額(当初予想 4,600億円 ⇒ 今回予想 4,400億円)
利益は、固定費削減効果などにより当初予想に変更なし
- ・販売数量ベースでは、09/下は08/上に対し、為替・材料価格の影響を除くと75%程度の規模に
- ・コスト構造改革を継続、次の成長に向けた基盤強化を実行

2009年度連結業績要約

(単位:億円、()は前年同期比)

	2007年度			2008年度			2009年度		
	1Q 実績	2Q累計 実績	通期 実績	1Q 実績	2Q累計 実績	通期 実績	1Q 実績	2Q累計 実績	通期 予想
売上高	1,724	3,463	7,011	1,756	3,537	5,907	925 08/4Q比: 98% 08/1Q比: 53%	1,953 08/下比: 82% 08/上比: 55%	4,400 08年度比: 74%
営業利益	125	266	597	154	297	151	△45 08/4Q比: +133 08/1Q比: △199	△35 08/下比: +111 08/上比: △332	100 08年度比: △51
経常利益	135	250	544	174	297	102	△55 (△229)	△61 (△358)	65 (△37)
(特別損益)	36	△6	△30	△0	0	△104	△1 (△1)	△27 (△27)	△40 (+64)
税前利益	171	244	514	174	297	△2	△56 (△230)	△87 (△384)	25 (+27)
当期純利益	86	126	270	87	153	△30	△37 (△124)	△57 (△210)	10 (+40)
設備投資額	156	258	493	82	197	438	52 (△30)	86 (△111)	198 (△240)
減価償却費	73	140	294	75	153	318	74 (△1)	149 (△4)	307 (△11)
研究開発費	31	67	133	33	67	131	24 (△9)	50 (△17)	108 (△23)

2009年度第2四半期累計業績

売上高 1,953億円 08上比 55% (08/下比 82%)

高級金属製品セグメント 885億円 08上比 56% (08/下比82%)
 電子・情報部品セグメント 458億円 08上比 54% (08/下比87%)
 高級機能部品セグメント 627億円 08上比 57% (08/下比80%)

■高級金属製品セグメント

特殊鋼の電子金属材料は半導体、液晶向けともに好調持続。工具鋼は流通在庫の調整が続き減少、3Q以降緩やかに回復の見込み。ロールは粗鋼生産は回復基調にあるものの需要低調により減少。

■電子・情報部品セグメント

マグネットは、PC・家電向けは順調に回復、自動車向けは生産調整の影響があったものの2Qより緩やかに回復。EPS向け等環境対応関連は堅調に推移、FA向けは設備投資抑制の影響を受け減少、今後も需要は低水準に留まる見込。情報部品は携帯関連が好調に推移。

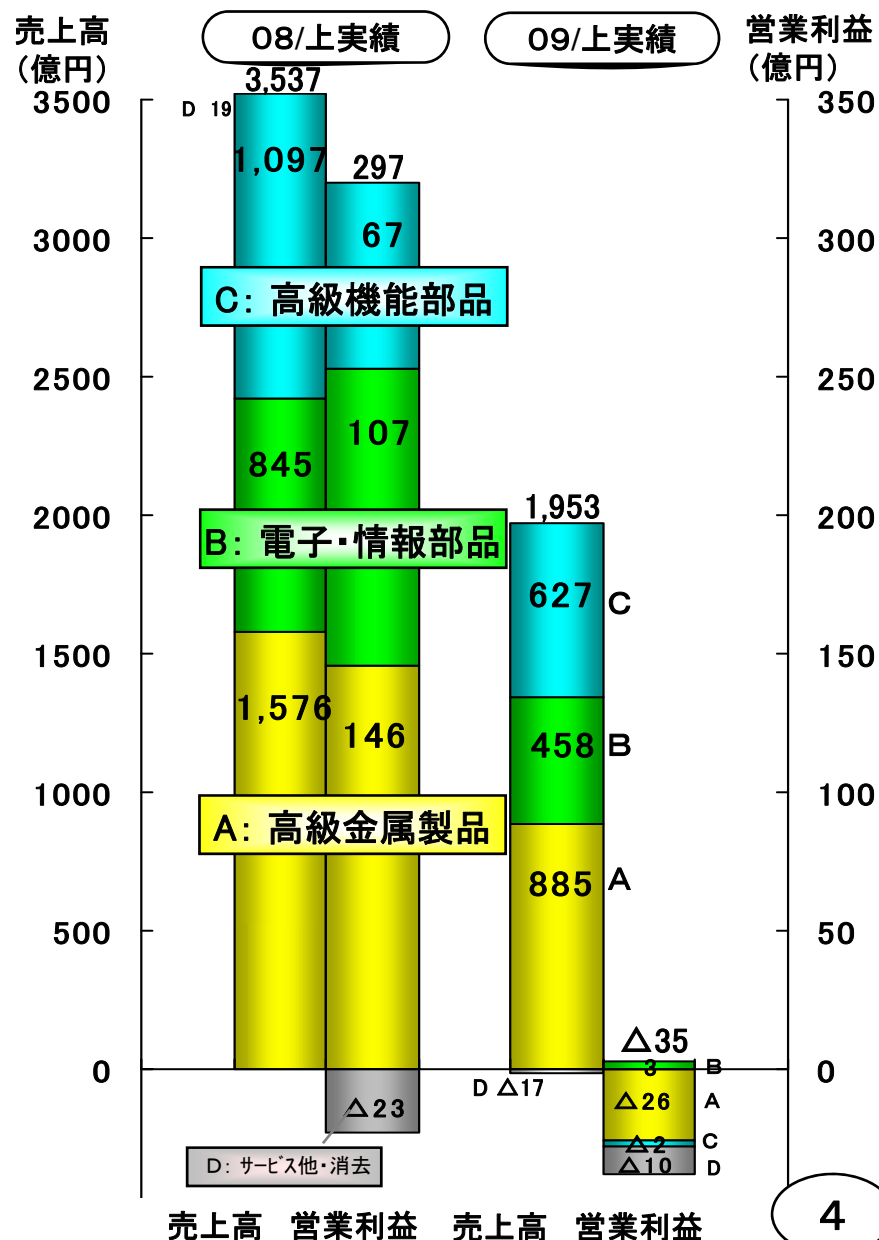
■高級機能部品セグメント

自動車用鋳物は、ダクタイル鋳鉄は自動車減産の影響により大幅減少、耐熱鋳造部品は米国大型車向けが減少したが欧州向けが回復に転じる。アルミホイールは2Qより回復に転じ、今後も堅調の見込。配管機器は設備投資抑制の影響により需要低迷が続く。

営業利益 △35億円 08/上比△332億円(08/下比+111億円)

高級金属製品セグメント △26億円 08上比 △172億円(08/下比+63億円)
 電子・情報部品セグメント 3億円 08上比 △104億円(08/下比+17億円)
 高級機能部品セグメント △2億円 08上比 △69億円(08/下比+23億円)

自動車関連分野における在庫調整や需要停滞による売上減の影響により08/上比では332億円減となったが、固定費削減効果などにより08/下比では111億円の改善となった。



売上高 営業利益 売上高 営業利益

2009年度業績予想

売上高 4,400億円 前年度比74%(当初予想比200億円減)
営業利益 100億円 前年度比51億円減(当初予想変更なし)

■高級金属製品セグメント

売上高 1,900億円 (08年度比72%、当初予想比△150億円)
 営業利益 36億円 (08年度比△21億円、当初予想比△2億円)

■電子・情報部品セグメント

売上高 1,100億円 (08年度比80%、当初予想比△50億円)
 営業利益 75億円 (08年度比△18億円、当初予想比△12億円)

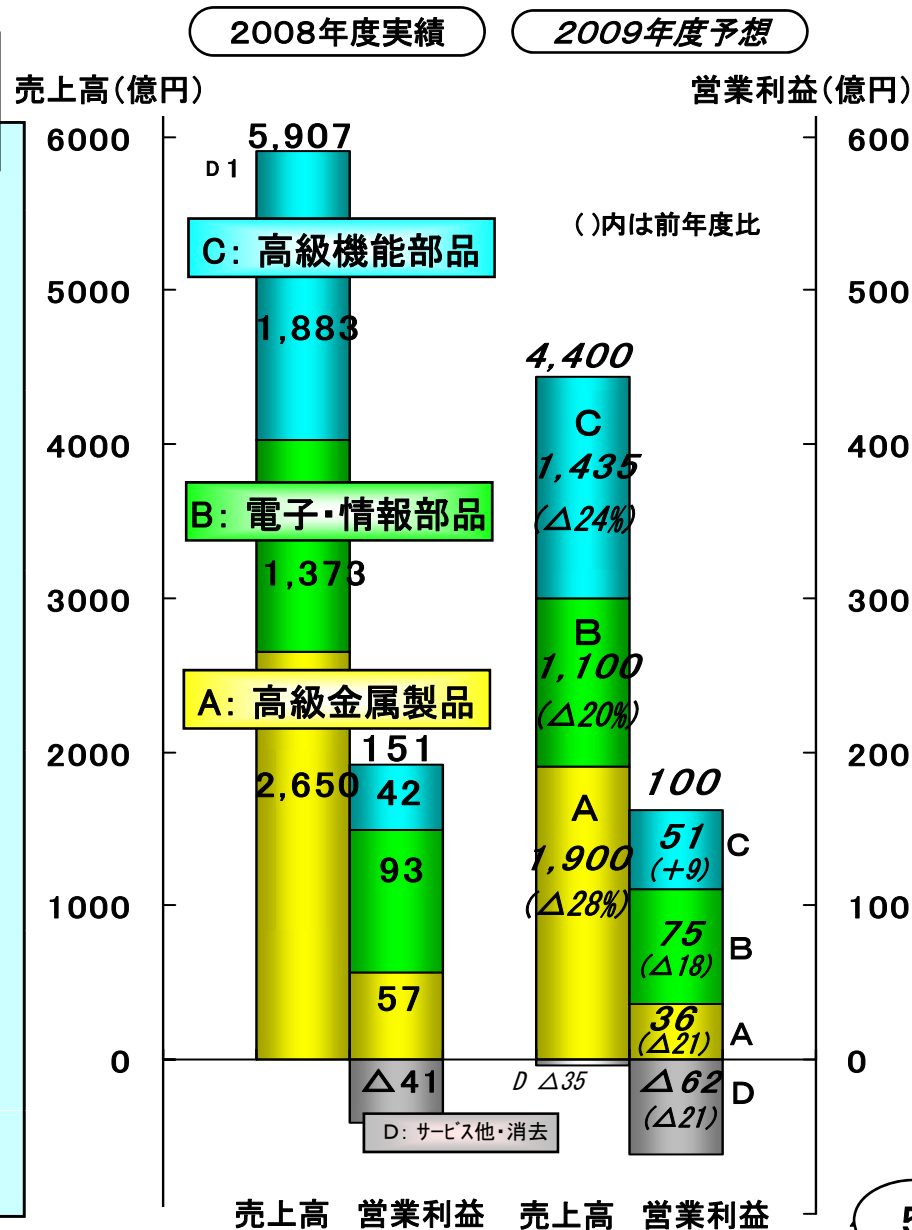
■高級機能部品セグメント

売上高 1,435億円 (08年度比76%、当初予想比△15億円)
 営業利益 51億円 (08年度比+9億円、当初予想比+8億円)

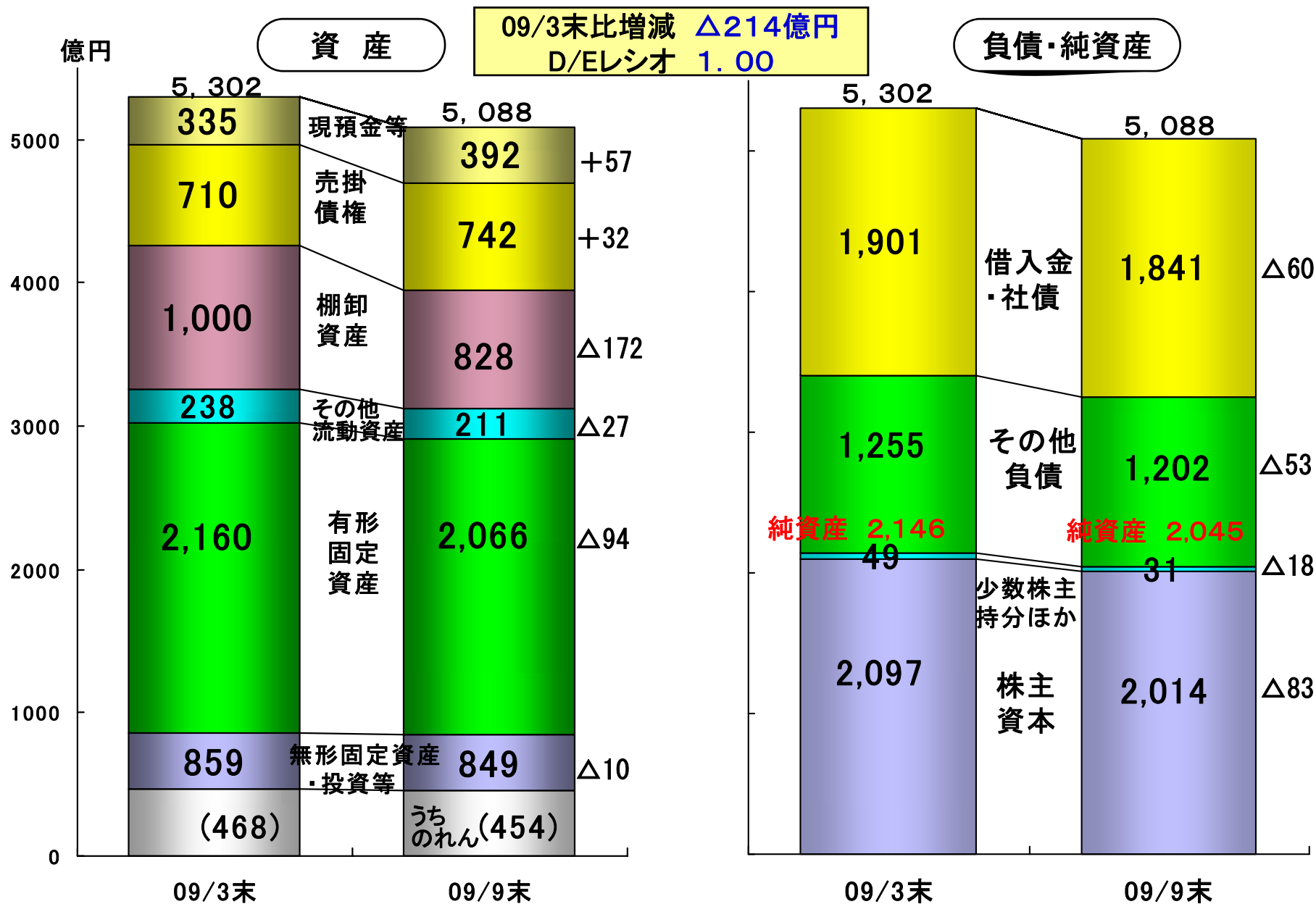
■サービス他・全社消去

売上高 △35億円 (当初予想比+15億円)
 営業利益 △62億円 (当初予想比+6億円)

液晶・半導体向けをはじめとするエレクトロニクス関連製品は中国を中心とした需要を取り込み回復、堅調に推移しているが工具鋼をはじめとする一部製品の在庫調整が続いており想定よりも実需回復に遅れがでる見込み。その影響により売上高は当初予想に対し減額を見込む。利益については、固定費削減効果などにより、従来予想に変更なし。引き続き、次なる成長に向けた体質強化を行っていく。



連結B/S残高



連結キャッシュ・フロー

(億円)

科 目	08年度 第2四半期 累計	09年度 第2四半期 累計
税金等調整前当期利益	297	△87
減価償却費	153	149
設備投資	△197	△86
その他	△210	171
フリーキャッシュ・フロー	43	147
借入金・社債の増減	25	△44
配当金支払他	△42	△36
換算差額	△9	△10
増加額または減少額合計	17	57

(注) 設備投資は検収ベース、08年度は受取利息・配当、支払利息組替後

(参考)各セグメントの事業構成

高級金属製品

特殊鋼カンパニー

ロールカンパニー

日立ツールグループ

電子・情報部品

NEOMAXカンパニー

情報部品カンパニー

軟磁性材料カンパニー

高級機能部品

自動車機器カンパニー

配管機器カンパニー

日立機材グループ

サービス他

販売・サービス会社

その他製造会社



本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動